

コミュニケーションの会議場に集めた10人の仲間を見回しながら、リーダーは言った。Mたちはお互いに顔を見合わせたのが、顔を見たところで見分けはつかない。

「知つての通り、やつらは我々を毎晩一人ずつ殺害していきます、このコミュニケーションを自分のものにしようとしています」
人造筋肉・人造骨・培養脳を有し、医者でもない限り人と全く区別がつかないほどのアンドロイドの登場は人々の暮らしを豊かにするはずだった。

4

とある会社が、色の変わる水売り出した。名前はマジカルインク。ペンキのようにぬったら、そのまま色落ちしない。何といっても原料は水と植物の粉だから、なめても大丈夫だ。マジカルインクは飛ぶように売れた。ペンのインクからビルのとそうまで、ありとあらゆる物がこのマジカルインクに変わった。社長の家はポロアパートだったが、今では東京ドームほどの大ごうていになった。会社は日本一の大企業に成長した。そして、ついには世の中の色のつくもの全てがこのマジカルインクでぬられるようになった。

どうでしょう。一目でわかった。あるいは、二読、三読して見当がついた。または、全然わからなかった……で

でしょうか。

では、答えを……といたいところですが、それには、前もって少々、AIについての話に、お付き合いいただきたいと思うのです。

1 AI（人工知能）って何？

AIは、Artificial Intelligenceの略です。和訳すると、人工知能……つまり人工的に作られた知能のことです。でも、それだけでは、やはり、はっきりしないと思います。

ただ、人工知能といっても、要はコンピューターです。ならば、コンピューターってどういうもの？ ということを身近に感じられれば、少しはAIの理解に近づけることと思います。身近なコンピューター……それは、パソコンです。パソコンで、コンピューターらしさを肌感覚で感じられるのは、ワープロやネット検索というより、表計算ソフトだと思っています。家計簿や、税金計算や、学校の生徒の成績など、大量の集計を扱うソフトです。人間はただ数字を入れるだけ（まあ、大量の数字を入れていくのも大変といえは大変ですが）。それさえできれば、面倒な計算は一瞬で終了。ミスがあっても、正しい数字を再入力するだけで、関連する箇所がこれまた一瞬で修正されます。たとえ何百カ所でも一瞬です。三十五年前、初めてそれを体験したとき、感動を覚えました。人力でやったら、何十時間も